

## 2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 横浜市立本宿中学校 ] 担当教諭名 [ 野口 雅史 ] ( 1-3年有志 24名 )

相手国・地域 [ ガーナ ]

海外学校名 [ Shakafatu Islamic Junior High School ] 担当教諭名 [ 遠山 宏樹(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	課外活動	ガーナとの一校一国運動	35

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	私たちの文化
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	キーワードを「仲」、「一緒に」、「関係」の3つ設定しました。時差や様々な習慣の違いを超えて、一緒に仲良く関係を深めていく。そして、それが時代を超えてこれらからも残っていくようにという想いを込めました。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちにとって、海外の同年代の生徒とともに協働学習する機会は、これまでになく、貴重な体験となった。</li> <li>相手国ガーナについて知ることができたのと同時に、自国の日本についても子どもたちなりに考えたり、見つめ直したりすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科の授業ではなく、有志の活動(昼休みや放課後の課外活動)として取り組んだため、時間の確保が難しく、全体的にスケジュールに対して少し遅れての取組となってしまった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが、考えたことをお互いに伝えあい、相手の気持ちや考えを尊重しながらテーマ設定などを行う様子が見られ、相手意識の大切さを感じている姿が見られた。</li> <li>世界が身近に感じられ、進路や将来について考えが深まった生徒が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自分たち自身で考え、学習が進んでいく様子を見て、教員側がルールを敷くことも大切だが、敷きすぎないようにすることの大切さを感じた。</li> <li>一部の情報だけを聞いてすべてと思うのではなく、様々な角度から他国のことを学べるように支援していきたいと改めて思った。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	名前やそれぞれが好きなものを書いた画用紙を持ち、写真を撮影し、フォーラムに載せた。ガーナの生徒に聞いてみたいことなどをまとめた。	ガーナの生徒の写真を見る様子から、今後の学習を楽しみにしている様子が強く伝わった。	課外活動 5
共有 テーマ学習	10月	日本の文化に関して、グループで調べ、パワーポイントにまとめた。ガーナからも同様の情報をもらい、比較した。	ステレオタイプなものばかりで、実際は日本文化についてあまり知らないことを実感した。ガーナの様子を知り、日本と共通のことや相違点がわかった。	課外活動 6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	フォーラムで連絡を取りながら、発信したいメッセージを考え、それを構図にした。メッセージだけでなく、「過去・現在・未来」のつながりを表現することにした。	2校や2国の関係がこれからも深まることを目指したいという気持ちが芽生えた。	課外活動 8
創造 壁画制作	12月	デザインをもとに実際に壁画制作をした。メッセージが伝わるように適宜、話し合いをして、変更しながらの制作となった。	気持ちを込めて一生懸命に制作にあっていた。よりメッセージを伝えられるよう工夫しながら制作していた。	課外活動 12
評価 振り返り 自己評価	3月	協力隊OVの方のガーナについての講話、青年海外協力協会の方によるワークショップを踏まえ、今回の取組を今後活かすことを考えた。完成した壁画を鑑賞しながら、9月以降の取組を振り返った。	壁画が完成し、これまでの学習に対しての達成感を感じていた。また、さらに学習を深めていきたいという意欲を持つ生徒も見られた。	課外活動 4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の文化を見つめ直し、ガーナの文化を知ることで自文化を再認識する様子が見られた。
異文化を理解する力	4	ガーナの中学生の発表を聞き、ガーナの文化的な特徴を知り、異文化を理解し、違いを認める力が身に付いた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	インターネットを駆使し、情報を収集しようとする姿勢が見られた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	ガーナの生徒とのコミュニケーションだけではなく、学年を超えた有志の活動でも、それぞれの気持ちをうまく伝えようとする姿が見られた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	これまでのアフリカやガーナの知識がステレオタイプだと気が付いた。
主体的に考え行動する力	4	発信したいメッセージを伝えるためにはどのようにしたらよいかを考え、行動を起こす様子が見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	相手意識をもって話し合いをしたり、壁画の制作に取り組んだりすることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	「どのようにしたらメッセージが伝わるデザインになるか」を考えながらデザイン作成や壁画の制作に取り組めた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	自分たちの頑張りを認め、課題を認識することで、今後につなげようとする姿勢が見られた。